



議員研修会

「循環型社会の実現をめざして」

講師

株式会社エフピコ

代表取締役社長 佐藤 守正もりまささん

議員研修会を11月18日に市役所大会議室で開催し、今年度は株式会社エフピコ代表取締役社長の佐藤守正さんにご講演をいただきました。

エフピコは、1990年からエフピコ方式のリサイクル事業を開始されました。使用済みの食品トレーをスーパーマーケット等で回収し再生されており、環境教育の



一環として、市内の小学校47校でも食品トレーを回収されています。

3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進され、「使い捨てではなく資源」を基本理念とし、適正にリサイクルすることが重要であるとお話がありました。

また、障がい者雇用では、エフピコグループの2019年3月末時点の雇用人数は359名、雇率は13・6%で、「能力を最大限に生かすダイバーシティ経営」を掲げ、長年にわたり障がい者雇用に尽力されています。

私たちも地球温暖化問題、海洋プラスチック問題に具体的に取り組まなければと考えさせられました。

また、障がい者雇用については市役所も含め、本市で事業を展開されている企業の皆さまに積極的な取り組みを進めていただけるよう、提案を続けていく必要性を感じました。

◇講師紹介

1983年、慶応義塾大学工学部卒業後、三井物産株式会社に入社。1998年に株式会社エフピコ取締役に就任し、翌年、三井物産株式会社を退社。2009年、代表取締役社長に就任。

（現在に至る）

特別委員会の視察報告（10月28日～29日）

行財政改革特別委員会

焼津市：公共施設マネジメント推進事業について

静岡市：アセットマネジメントの取り組みについて

静岡市では、民間活力の導入による効率的で効果的な公共施設の整備を進めるため、アセットマネジメント基本方針ののっとり、民間事業者向けに公民連携推進の説明会を開催しています。公民連携の推進に積極的に取り組まれており、本市の取り組みを考える上で参考になりました。



（委員長 今岡芳徳）

都市整備特別委員会

豊後高田市：行政、商工会議所、商業者の3者による「昭和」をキーワードにした商店街再生に向けた取り組みについて

北九州市：勝山公園のにぎわいづくりについて

豊後高田市の「昭和の町」は、昭和30年代をテーマに平成13年度から取り組みが始まり、建築物再生や一店一宝のお宝展示、一店一品の商品販売を行い、年間約40万人の入込み客数があります。北九州市の勝山公園では全国で初めてパークPFIを導入し、飲食・物販機能を有する便益施設を整備しています。



（委員長 高田健司）

地方創生調査特別委員会

金沢市：金沢版総合戦略について

福井県：学生の定着促進について

金沢市は、新しい都市像に「世界の交流拠点都市金沢」を掲げ、子育て支援、定住促進、産業の活性化等、地方創生に資する施策に重点を置いた金沢版総合戦略の取り組みを進めています。来年度からの第2次総合戦略では、新たな視点として、RPAやAIの活用、金沢SDGsの推進等も検討されています。



（委員長 宮地徹三）